

神業ニッポン

明治のやきもの 一幻の横浜焼・東京焼

1859(安政6)年、横浜港が開港。

開国を機に日本で近代の幕が開くと、横浜や東京には各地から陶磁関係の業者が集まり、工房や店を構えるようになります。全国の陶産地から素地を取り寄せ、外国人や海外への輸出向けの、絵付けや装飾を凝らした「横浜焼・東京焼」が誕生しました。

優美で精緻を極めた「横浜焼・東京焼」の品々は、万国博覧会で紹介されて反響を呼び、欧米諸国で大きな関心を集めました。また、その類い稀な意匠は欧米におけるジャポニスム(日本趣味)ブームを加速させ、横浜港から大量に海外へ輸出されることとなります。

輸出品という性格上、「横浜焼・東京焼」が国内に残ることは稀で、「幻の陶磁器」といわれています。本展では、国内随一のコレクター・田邊哲人氏所蔵の里帰り作品を中心に、国内に現存する優品約140点を紹介し、超絶技巧で知られる「職人技」の魅力にせまります。



宮川香山
「高野庵内窓遊戯獅子結縁付香(封)」明治時代前期
田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)



中村謙次郎
「色絵五鳥文茶碗」
田邊哲人コレクション



井村彦次郎
素地・初川本使司
「色絵花鳥文大瓶」明治時代
田邊哲人コレクション



川戸原次郎
「色絵秋草文茶器セット」
田邊哲人コレクション



宮川香山
「高野庵内窓遊戯獅子結縁付香(封)」明治時代前期
田邊哲人コレクション(神奈川県立歴史博物館寄託)



宮川香山
「輪裏紅軒羅文水注」
田邊哲人コレクション



成瀬誠志
「色絵遊覧文皿」
田邊哲人コレクション



宮川香山
「高取桂高野形蟹花瓶」1916年
田邊哲人コレクション
(神奈川県立歴史博物館寄託)



序章 ～横浜開港～「大日本」世界へ発信

第I章 ～万国博覧会デビュー～ 東京錦葉の誕生

第II章 ～宮川香山と井村彦次郎～ 横浜焼・横浜絵付のはじまり

第III章 ～輸出陶磁器の隆盛～ 東京焼・東京絵付の精華

第IV章 ～驚異の横浜絵付～ 陶磁器商、陶磁画工の台頭

関連行事

1. 記念講演会「幻の横浜焼・東京焼 —その魅力にせまる—」 参加無料 要事前申込

講師=荒川正明氏(学習院大学教授 本展監修者)

日時=令和3年4月25日(日)14:00～15:30 / 場所=陶芸の森 信楽産業展示館 ホール

2. 体験講座 令和3年5月30日(日) 要事前申込

「壺から飛び出す花・鳥・猫 —好きなものを盛り付けよう」

講師=榎本佳子氏 / 対象=中学生以上 / 定員=15人

参加費=5,000円 / 場所=陶芸の森 信楽産業展示館 創作室

3. 期間限定メニュー

「芝生で奇想の和洋BENTOピクニック」

和洋折衷の作品をイメージした奇想の和洋BENTOを用意しています。

場所=陶芸の森 信楽産業展示館内 BROWN RICE AND WATER

※期間限定メニューを注文する方には、展示割引券(2部)を贈呈

4. ギャラリートーク(学芸員による展示解説) ※申込不要、要入場券

①5月9日(日)、②5月16日(日) 各日とも13:30～



陶芸館ギャラリー企画

「ねんどでフロッターージュ —まち、公園、学校を写しとろう!」展

令和3年3月20日(土・祝)～3月28日(日)

「森で生まれた驚きの枝」展

令和3年4月1日(木)～6月6日(日)

出品作家=徳丸鏡子、杉浦康益、大石早矢香、榎本佳子、鈴木秀昭、原 菜央

次回展覧会

特別展「Human and Animal 土に吹き込まれた命 21世紀陶芸の最先端 / Part1」

会期=令和3年6月29日(火)～9月5日(日)

新型コロナウイルス感染症の状況により、予定の変更もしくは中止する場合があります。最新の情報は、当館のウェブサイトにてご確認ください。



信楽産業 陶芸の森 陶芸館

アクセス

公共交通機関

○JR草津駅より草津線乗り換え「貴生川駅」下車、信楽高原鉄道乗り換え「信楽駅」下車、徒歩20分(約75分)

○信楽高原鉄道「信楽駅」より甲賀市コミュニティバス「陶芸の森前」または「陶芸の森(陶芸館前)」下車(約5分)

自動車

○新名神高速道路 信楽I.C.から約8分

○駐車場(無料) 普通車/約250台 大型バス/約10台

事前申込方法 ①イベント名 ②氏名(ふりがな) ③住所 ④電話番号を記入の上、下記いずれかの方法でお申し込みください。
電話=0748-83-0909 / FAX=0748-83-1193 / E-mail=mori-otoiwase@sccp.jp